

2018年度 日本イコモス賞及び日本イコモス奨励賞候補の募集について

－7月27日（金） 応募及び推薦の締切－

日本イコモス賞及び日本イコモス奨励賞は文化遺産の保護に顕著な業績を挙げた個人または団体に授与し、その功績を日本イコモス国内委員会として讃えるとともに、その成果を広く社会に広めたいとの目標を持って、2014年に創設されました。会員の自薦及び推薦によりこれまで別記のように4回の選考と授賞を行って成果を挙げています。

会員の皆さんには日本イコモス賞及び日本イコモス奨励賞にふさわしい業績をあげた人もしくは団体について、自ら応募、または推薦をお願いします。この表彰制度の発展は、いうまでもなく応募・推薦の内容と数にかかっています。

今年度の募集及び選考、授賞式は下記の日程で行います。募集期間が短く、たいへん申し訳ありませんが、たくさんの候補をぜひよろしくをお願いします。

応募及び推薦の締切：7月27日（金）

受賞者の決定：9月15日（土）理事会にて決定

受賞者の発表：決定後すみやかにホームページに掲載するとともにメディアに広報。

授賞式：12月15日（土）年次総会に引き続いて実施

今年度の募集要領及び推薦書式、また、これまでの受賞者等の詳細については、日本イコモス国内委員会のHPのトップページの左端の「日本イコモス賞」のバナーを選択し、参照してください。

2017年度～2019年度 選考委員

荻谷勇雅（委員長）、岸本雅敏、高崎康隆、田原幸夫、前田耕作



第1回(2014)授賞式の様子—田原幸夫氏



第2回(2015)授賞式後の記念写真

別記：これまでの受賞者と受賞業績一覧

(敬称略。所属は受賞時)

	日本イコモス賞	日本イコモス奨励賞
第1回 (2014)	<p>・田原幸夫 (京都工芸繊維大学特任教授)</p> <p>東京駅丸の内駅舎の復原再生プロジェクトの推進</p> <p>・文化財庭園保存技術者協議会</p> <p>日本庭園の伝統的保存技術の保護・継承と普及活動の推進</p>	<p>・清水重敦 (京都工芸繊維大学准教授)</p> <p>『建築保存概念の生成史』の著作</p>
第2回 (2015)	<p>・山出 保 (金沢市元市長)</p> <p>金沢市の歴史的環境保全に関する長年の貢献</p>	<p>・豊川斎赫 (小山工業高等専門学校 准教授)</p> <p>著書『群像としての丹下研究室』及び編著『丹下健三と KENZO TANGE』にみる現代建築・都市計画史研究の業績</p> <p>・鳥海基樹 (首都大学東京 准教授)</p> <p>フランスの文化遺産保護に関する一連の研究</p>
第3回 (2016)	<p>・西藤清秀 (奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー)</p> <p>シリア・パルミラの葬制研究・保存修復と危機に瀕する文化遺産の国際会議の組織化と実践</p> <p>・特定非営利法人赤煉瓦倶楽部舞鶴及び舞鶴市</p> <p>歴史的建造物保存に関する長年の貢献と、これを通じて全国の近代建築保存の先導役を果たしてきた業績</p>	—
第4回 (2017)	<p>・大竹幸恵 (長野県長和町教育委員会)</p> <p>信州縄文時代黒曜石鉾山の調査研究・保存普及・体験学習に関する系統的展開活動</p>	<p>・冨永善啓 (株式会社 文化財構造計画 所長)</p> <p>歴史的建造物の保存活用における構造設計家としての貢献</p>